

12月)

全国集会 8月21～22日 山中湖

2. 役員改選 (1993～1994年度役員)

会 長 加崎英男

副 会 長 桜井善雄・浜島繁隆

幹 事 沖 陽子・尾崎富衛 (新任)・角野  
康郎・国井秀伸・下田路子・田中  
修・納田美也・林 浩二・別府敏夫・  
星 一彰 (アイウ順)

名誉会長 原田市太郎

名誉顧問 大滝末男

3. 会費値上げについて

来年度より会費を4,000円 (学生会員は2,000円) とすることが可決された。あわせて、今後、安定した会の運営のために、普通会员とは別に「維持会員」、「賛助会員」、「団体会員」などの制度を設けることについても検討することになった。

4. 来年度全国集会開催地について

西日本の適当な場所ということで事務局に折衝を  
一任 (交渉の結果、滋賀県で行なうことに決定)。

(文責 角野康郎)

○第15回全国集会のご案内

日時 1993年7月24～25日

場所 滋賀県大津市 琵琶湖研究所、他

詳細ならびに参加申込については、次号の会報でご案内します。

○会費納入のお願い

1993年度会費 (4,000円、学生2,000円) の納入をお願いします。会費が変更になっていますのでご注意ください。また、退会される方は必ず事務局までご一報下さい。

送金先 郵便振替 神戸7-13829

水草研究会

〔編集後記〕

会報の発行が遅れて申し訳ありません。さて、今回は夏の全国集会の講演を中心に編集しました。今回の発表は話題が多岐にわたりましたが、その一端がうかがえると思います。なお、国井さんのお話は次号に掲載させていただきます。

この後記を書いているのは、実は1月10日なのですが、今年には水草をめぐる状況がどうなるだろうかと思いをめぐらせています。ここ2、3年、水辺環境への関心に加え、絶滅危惧種の問題のクローズアップで水草にもずいぶん日があたるようになったと思いますが、上滑りにならないためにもここで何か、という気がします。

次号は4月発行予定ですので、原稿をお寄せいただく方は2月中にお願いできると幸いです。

(角野)

## 水草研究会会報投稿規定

1. 投稿は本会会員に限る。但し、本会が依頼した場合はこの限りではない。
  2. 原稿内容は、水草\*に関する調査、研究報告、解説（総説）、短報、諸資料、諸情報、エッセイ、他とする。なお原稿の内容に疑義のある場合は、書き直しを求めることがある。
  3. 原稿作成にあたっては、以下の諸点に留意する。
    - A. 原稿は横書き原稿用紙に楷書するか、ワープロ（和文タイプ）を用いる。
    - B. 原著に相当する報文には著者名及びタイトルの英語を併記すること。また、著者が必要と認めた場合は、英文摘要（Abstract）をつけることができる。
    - C. 図は活字の貼り込みをのぞき、そのまま製版できるように仕上げる。図（写真含む）の右上または裏面に、図の番号と著者名を書き、説明は別紙に一括する。表は別紙に書く。表の説明は各表の上側につけ、必要に応じ、下に注をつける。
    - D. 文献の引用は、文献番号ではなく、著者名と年号を明記する。  
(例) 『三木 (1937) は、…』 『…である (三木、1937) 』。また、文末の引用文献は、最近号の例にならって、著者の姓名のアルファベット順に配列する。
  4. 掲載の順序と体裁、並びに校正は編集担当者に一任のこと。なお、特に希望する点があれば申し出る。
  5. 別刷を必要とする場合は、投稿時に必要部数を申し込むこと（50部以上、50部単位）。費用は著者負担とする。
  6. 送稿や編集に関する通信は、〒657 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 神戸大学教養部生物学教室 角野康郎宛とする。
- \*ここで言う水草は狭義の水草に限定せず、広く湿地や水辺の植物なども含むものとする。